

## <中国> 徳山工業高等専門学校

\*\*\*\*\*断り\*\*\*\*\*

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

徳山工業高等専門学校 HP : <https://www.tokuyama.ac.jp/>

2020 年度学校要覧 : <https://www.tokuyama.ac.jp/school/info/pdf/catalogue2020.pdf>

\*\*\*\*\*

### \*アクセス

〒745-8585 山口県周南市学園台



図 1 アクセスマップ

### \*特色

- ・本科は機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の 3 学科編成
- ・専攻科は機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻の 3 専攻

\*教育目標・教育理念(一部文章及び図表は徳山高専 HP より引用)

### What is "高専"?

#### 建学の理念

技術を愛する人物、  
人々から信頼される人物を育くみ、  
広く社会の安全と人々の幸福に寄与する

育成しようとする技術者像

建学の理念に基づき、次のような技術者を育てようとしている。

【本科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

【専攻科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

これは、徳山高専の活躍分野が、業種・職種ともに多岐にわたっていることから、多くの技術分野で必須である「情報技術」をベースとし、それに、本校開校以来の伝統である「複合技術」を活用して活躍する技術者を想定している。

ただし、本科と専攻科では修業年限が異なりますので、めざす技術者像は自ずと異なってくる。しかし、それらはいずれも社会の要請に応えるものではなくてはならない。そこで本科では、発見した「技術的課題を解決できる技術者」を、専攻科ではそこから新たなものを「設計・開発できる技術者」を育てようとしている。

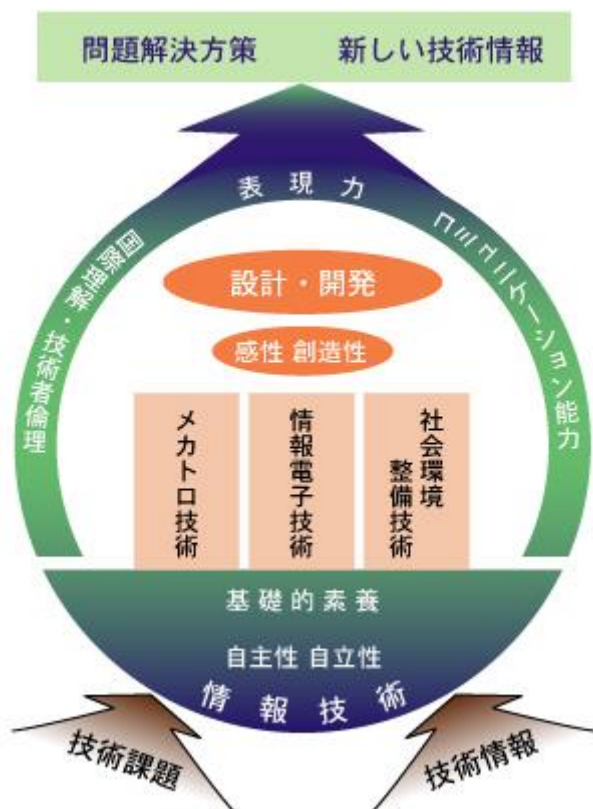


図2 技術者育成像

各学科/専攻において得意とする複合技術	
<b>機械電気工学科</b> 「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」 (メカトロ技術)	<b>機械制御工学専攻</b> 「コンピュータで制御する機械を設計・開発する技術」 (メカトロ技術)
<b>情報電子工学科</b> 「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」 (情報電子技術)	<b>情報電子工学専攻</b> 「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術」 (情報電子技術)
<b>土木建築工学科</b> 「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」 (社会環境整備技術)	<b>環境建設工学専攻</b> 「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術」 (社会環境整備技術)

**徳山高専の学習・教育目標**

世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成

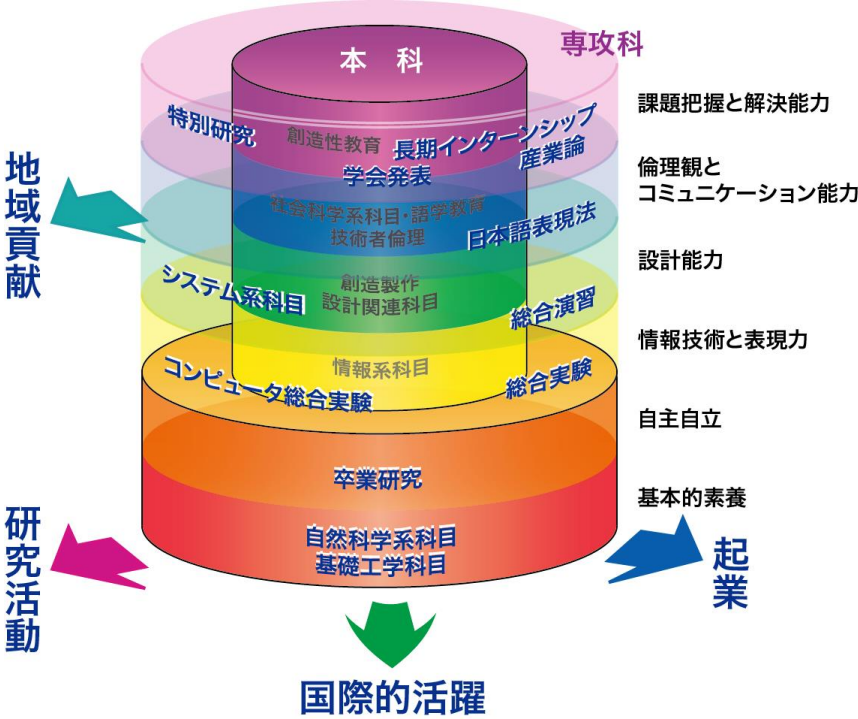


図3 学習・教育目標

<p>○ 準学士課程卒業時の到達目標</p> <p>(A)「世界に通用する」技術者をめざすために</p> <p>(A1)基本的素養 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する</li> </ul> <p>(A2)倫理観とコミュニケーション能力 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する</li> <li>・ 自らの目標を定め、外部試験を活用して、 英語力のステップアップを図る</li> </ul> <p>(B)「実践力のある」技術者をめざすために</p> <p>(B1)情報技術と表現力 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報関連・実験の科目を修得する</li> </ul> <p>(B2)自主自立 自主性と自立性を養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究の科目を修得する</li> </ul> <p>(C)「開発型」技術者をめざすために</p> <p>(C1)設計能力 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、</li> </ul>	<p>○ 専攻科課程修了時の到達目標</p> <p>(A)「世界に通用する」技術者をめざすために</p> <p>(A1)基本的素養 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する</li> <li>・ 学士を取得する</li> </ul> <p>(A2)倫理観とコミュニケーション能力 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する</li> </ul> <p>(B)「実践力のある」技術者をめざすために</p> <p>(B1)情報技術と表現力 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報関連・実験の科目を修得する</li> </ul> <p>(B2)自主自立 自主性と自立性を養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究の科目を修得する</li> </ul> <p>(C)「開発型」技術者をめざすために</p> <p>(C1)設計能力 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、 ひとつの分野の定められた科目を修得</li> </ul>
--	---

<p>境整備技術のうち、 ひとつの分野の定められた科目を修得する</p> <p>(C2)課題把握と解決能力 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創造系の科目を修得する</li> <li>・ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う</li> </ul>	<p>する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合科目(2科目以上)及び総合演習の科目を修得する</li> </ul> <p>(C2)課題把握と解決能力 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップ及び特別研究の科目を修得する</li> <li>・ 国内外の学協会で発表を行う</li> </ul>
---	---

\*3つのポリシー(一部文章は徳山高専 HP より引用)

**ディプロマポリシー (卒業・修了認定の基本方針)**

本校では、下記の人材の育成を目的とする。所定の年限在籍し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各学科が規定する単位を修得したものに卒業を認定し準学士と称することを認め、各専攻が規定する単位を修得したものに修了を認定する。

**【本科】**

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

**【専攻科】**

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

卒業生・修了生が修得すべき能力・技能を具体化すると、次のようになる。

1. 基本的能力

数学、自然科学、人文・社会科学、工学基礎など、工学の専門知識や技術の修得に必要なとなる能力。

2. 専門的能力

それぞれの専門分野及び複合分野にわたる技術者として備えるべき能力。

3. 汎用的技能

技術者として必要となるコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能。

4. 態度・志向性 (人間力)

技術者として必要となる主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、未来志向型キャリアデザインなどの能力。

5. 創造的思考力

技術者として必要となる創成能力やエンジニアリングデザイン能力などの思考力。

## 6. 異文化対応力

技術者として世界のどこでも必要となる教養と感性を持ち、グローバルな視点で異文化に対応する能力。

## 7. 倫理的判断力

世界のどこで活躍しようとも必要となる判断基準を持ち、技術者として自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための能力。

### カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）

本校では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意している。

各学科・専攻科における具体的な科目群をまとめると次のようになる。

#### <全学科・専攻共通>

##### 1. 基本的能力

豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を本科・専攻科を通して用意している。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学、基礎工学などに関する基礎・応用科目群を本科・専攻科を通して教育課程に用意している。

##### 2. 専門的能力

各学科・専攻科において専門工学、工学実験・実習、応用・学際的科目群を用意しています。

##### 3. 汎用的技能

各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）、学科学年縦横断型の活動など、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意している。

##### 4. 態度・志向性（人間力）

各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特研究）、体育などととも、学科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、課外活動など、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意している。

##### 5. 創造的思考力

各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）、学科学年縦横断型の活動など、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意している。

##### 6. 異文化対応力

技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを本科・専攻科を通して用意している。

##### 7. 倫理的判断力

技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として倫理、哲学、技術者倫理、安全工学概論などの科目を本科・専攻科を通して用意している。

#### <機械電気工学科・機械制御工学専攻>

- 1) 機械工学・電気工学の基礎・応用科目群：いわゆる機械工学（材料力学、水力学、熱力学、機械力学など）および電気工学（電気回路、電子回路、電磁気学など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（ロボット制御工学、応用計測工学など）を用意している。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的な工学実験、工作実習、設計製図（および専攻科における総合実験）などの実技科目を用意している。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：創造演習・創造製作、知的財産権、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意している。

#### <情報電子工学科・情報電子工学専攻>

- 1) 電子・情報・通信工学の基礎・応用科目群：いわゆる情報工学（情報理論、コンピュータアーキテクチャ、プログラミングなど）および電気・電子工学（電磁気学、アナログ回路、デジタル回路など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（メディア信号処理、半導体電子工学など）を用意している。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的なプログラミング関連科目、電子工学実験、情報システム実験、電子通信システム実験（および専攻科における総合実験）などの実技科目を用意している。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：知的財産論、創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意している。

#### <土木建築工学科・環境建設工学専攻>

- 1) 土木工学・建築学の基礎・応用科目群：いわゆる土木工学（土木構造・材料学、水工学、地盤工学、測量など）および建築学（建築構造・材料学、建築計画学、建築環境・設備学、都市計画学など）を基盤とし基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（建設プログラミング、都市環境計画学など）を用意している。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的な工学デザイン、工学実験、測量実習、情報処理、CAD（および専攻科における総合実験）などの実技科目を用意している。

3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：集中測量実習、創造演習、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意している。

#### <成績評価及び単位認定基準>

これらの科目に対する単位取得の認定は、各科目のシラバスに基づき、以下の方法で行う。

- (1) 成績評価は、定期試験の成績、レポート等の課題、履修状況等を総合して実施する。
- (2) 成績は履修と認められた科目で100点法により採点し、60点以上の成績をもって所定の単位を認定する。
- (3) 成績評価の評語は以下の4段階とする。

評点区分(評語)	最終成績(点)	GP (Grade Point)
優	80~100	3
良	70~79	2
可	60~69	1
不可	0~59	0

#### アドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）

本校のアドミッションポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものである。具体的には次のような人を求めている。

##### <本科入学者および編入学者に求める学生像>

本科（準学士課程）では、以下の素養を有する人を求めている。

- ・数学と理科の基礎学力が身についている人
- ・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えている人

##### <専攻科入学者に求める学生像>

専攻科では、次のような人を広く求めている。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身についている人
- ・コミュニケーション能力や倫理的判断能力が身についている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人



本校では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めている。

#### ＜本科入学者選抜の基本方針＞

・推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書および推薦書等の提出資料の内容に加え、作文（コミュニケーション能力の基礎として国語による表現力、ものづくりが好きであるかを評価）、目的意識・意欲などに関する一般面接（コミュニケーション能力や意欲、ものづくりが好きで、信頼される技術者を目指しているか、社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）、各学科への適性に関する適性面接（数学や理科の基礎学力を評価）の結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜する。

・学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の結果と調査書の内容を総合的に評価する。学力検査は筆記試験で、国語、英語、数学、理科、社会の5教科である。なお、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算する。また、他の教科と調査書は主に十分なコミュニケーション能力の基礎を身につけているかを評価する。

・帰国子女特別選抜においては、筆記試験で、国語、英語、数学、理科の4教科を実施し、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算する。また、他の教科では主に十分なコミュニケーション能力を身につけているかを評価する。さらに一般面接（意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、本校への適性を有すると判断した人を選抜する。

#### ＜編入学者の選抜方針＞

編入学希望者の選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、数学と英語、および物理または専門科目の学力検査（基礎学力を評価）を行い、調査書等の内容を参考に面接（コミュニケーション能力、意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、これらの結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜する。

#### ＜専攻科入学者選抜の基本方針＞

専攻科入学者の選抜は、「学校長の推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行う。

・「学校長の推薦による選抜」においては、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、口頭試問（実験・演習や卒業研究の取り組みを評価）及び面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合的に判定する。

・「学力検査による選抜」においては、数学、英語及び専門科目の得点の合計（複合分野の基礎となる基本的素養を評価）、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行う。英語

は TOEIC スコアを本校専攻科で定めた基準により換算する。また専門科目は口頭試問で実施する。なお、専門科目は外部資格による免除制度がある。

・「社会人特別選抜」においては、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行う。

### **アセスメントポリシー（学修成果の評価に関する方針）**

本校では、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーの三つのポリシーに基づく教育の実施と改善・改革を推進するためアセスメントポリシーを定める。本ポリシーは、三つのポリシーそのものの妥当性を検証し、さらに学校全体、学科・専攻、科目の3段階で学修成果等の評価の方針を定め、これらの結果をそれぞれの段階にフィードバックすることにより、学校全体として教育改善を継続して行うために設定する。

#### **<徳山工業高等専門学校全体のアセスメントポリシー>**

学生の志望進路（就職率、進学率、就職先、進学先）、卒業生・修了生アンケート調査、企業アンケート調査等から、本校が育成しようとする技術者像に沿った学修成果の達成状況を検証する。検証結果は、学校全体の現状把握、全学的な教育改革・改善、キャリア教育等の改善に活用する。

#### **<学科・専攻のアセスメントポリシー>**

学科・専攻における卒業・修了要件達成状況、単位取得状況、外部客観テスト（英語運用能力テスト（TOEIC 等）、ジェネリックスキルテスト、異文化対応力テスト、学習行動調査等）から、学科・専攻の教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を検証する。

#### **<科目のアセスメントポリシー>**

単位取得状況、成績評価資料のピアレビュー、学生による授業アンケートの結果等から、科目ごとの学修成果のレベルと、その達成状況を検証する。

アセスメントポリシーそのものが機能しているかどうかは、アセスメントポリシーに基づいた教育改善が、学校全体で継続して行われていることを「教育点検システムの点検結果報告書」としてまとめ、自己評価・点検することにより検証する。また、学校全体の教育システムの PDCA サイクルそのものが機能しているかは、「教育点検システムの点検結果報告書」の結果を顧問会議で報告し、さらなる改善や課題等について意見を伺うことにより確認、検証するとともに、学校ホームページにて公開する。

#### **\*JABEE(一部文章及び URL は徳山高専 HP より引用)**

徳山高専の本科 4・5 年と専攻科のカリキュラムで構成している「設計情報工学」プログラムの、国際的に通用する技術者育成に適合するものとして、日本技術者教育認定機構 (JABEE) から認定を受けた。

平成 15 年度から適用されている。

教育プログラムについての詳細は下記 URL から

- ▶ [「設計情報工学」プログラム情報](#)
- ▶ [「設計情報工学」プログラムの構成図](#)
- ▶ [学習・教育到達目標と育成しようとする技術者像](#)
- ▶ [日本技術者教育認定基準（JABEE 基準）](#)
- ▶ [学習・教育到達目標と JABEE 基準 1（2）との対応関係](#)
- ▶ [各学習・教育到達目標の達成度評価対象とその評価方法及び評価基準](#)
- ▶ [「設計情報工学」プログラム修了要件](#)
- ▶ [プログラム修了要件と JABEE 基準 1（2）との対応](#)
- ▶ [カリキュラム系統図](#)
- ▶ [学習・教育到達目標と JABEE 基準 1（2）及び開設科目の対応](#)
- ▶ [プログラム修了確認表](#)
- ▶ [教育点検システム](#)
- ▶ [教員間連絡ネットワーク組織](#)
- ▶ [令和 2 年度専攻科修了生・本科卒業生・企業対象アンケート報告書](#)
- ▶ [平成 24 年度専攻科修了生・本科卒業生・企業対象アンケート報告書](#)
- ▶ [平成 19 年度専攻科修了生・本科卒業生・企業対象アンケート報告書](#)
- ▶ [平成 14 年度専攻科修了生・本科卒業生・企業対象アンケート報告書](#)
- ▶ [JABEE 受審に関する 6 つの質問](#)
- ▶ [JABEE に対するこれまでの取り組み](#)

\*入試形態(URL は徳山高専 HP より引用)

[令和 3 年度 学生募集要項 \[推薦・学力\]](#)

[令和 3 年度学生募集要項 \[帰国子女\]](#)

[令和 3 年度 編入学生募集要項](#)

[令和 3 年度 専攻科学生募集要項](#)

\*試験状況及び偏差値や倍率(図は徳山高専 HP より引用)

偏差値 68

令和 2（2020）年度入学状況

【本科】		令和2(2020)年							
		機械電気		情報電子		土木建築		計	
推薦	志願者	23	(1)	26	(5)	38	(24)	87	(30)
	入学者	20	(1)	19	(4)	20	(15)	59	(20)
学力	志願者	77	(5)	90	(19)	79	(32)	246	(56)
	受検者	74	(5)	94	(19)	97	(41)	265	(65)
	合格者	48	(3)	64	(15)	51	(26)	163	(44)
	入学者	26	(2)	21	(5)	20	(8)	67	(15)
計	志願者	100	(6)	116	(24)	117	(56)	333	(86)
	入学者	46	(3)	40	(9)	40	(23)	126	(35)

( )は女性で内数  
 学力受検者には推薦不合格者のうち学力検査を受検したものを含む

【編入】		令和2(2020)年							
		機械電気		情報電子		土木建築		計	
Aコース	志願者	1	(0)	1	(0)	0	(0)	2	(0)
	入学者	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
Bコース	志願者	2	(0)	2	(0)	1	(0)	5	(0)
	入学者	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
計	志願者	3	(0)	3	(0)	1	(0)	7	(0)
	入学者	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)

( )は女性で内数

【専攻科】		令和2(2020)年							
		機械制御		情報電子		環境建設		計	
推薦	志願者	5	(0)	10	(0)	5	(1)	20	(1)
	入学者	5	(0)	9	(0)	5	(1)	19	(1)
学力	志願者	7	(0)	8	(2)	11	(3)	26	(5)
	合格者	7	(0)	6	(2)	9	(3)	22	(5)
	入学者	3	(0)	5	(1)	3	(1)	11	(2)
計	志願者	12	(0)	18	(2)	16	(4)	46	(6)
	入学者	8	(0)	14	(1)	8	(2)	30	(3)

( )は女性で内数

入学志願状況の推移

## 【学科別】

		機械電気		情報電子		土木建築		計	
平成28(2016)年	志願者	100	(10)	89	(24)	134	(40)	323	(74)
	入学者	40	(3)	40	(6)	43	(16)	123	(25)
	倍率	2.5		2.2		3.1		2.6	
平成29(2017)年	志願者	102	(5)	130	(29)	118	(37)	350	(71)
	入学者	41	(2)	42	(13)	41	(19)	124	(34)
	倍率	2.5		3.1		2.9		2.8	
平成30(2018)年	志願者	97	(4)	125	(30)	141	(49)	363	(83)
	入学者	44	(1)	50	(19)	42	(23)	136	(43)
	倍率	2.2		2.5		3.4		2.7	
平成31(2019)年	志願者	82	(6)	113	(36)	102	(37)	297	(79)
	入学者	43	(5)	46	(12)	45	(21)	134	(38)
	倍率	1.9		2.5		2.3		2.2	
令和2(2020)年	志願者	100	(6)	116	(24)	117	(56)	333	(86)
	入学者	46	(3)	40	(9)	40	(23)	126	(35)
	倍率	2.2		2.9		2.9		2.6	

( )は女性で内数

## 【編入】

		機械電気		情報電子		土木建築		計	
平成28(2016)年	志願者	1	(0)	1	(0)	1	(0)	3	(0)
	入学者	0	(0)	1	(0)	0	(0)	1	(0)
平成29(2017)年	志願者	3	(2)	0	(0)	0	(0)	3	(2)
	入学者	1	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)
平成30(2018)年	志願者	1	(0)	募集なし		0	(0)	1	(0)
	入学者	1	(0)			0	(0)	1	(0)
平成31(2019)年	志願者	1	(0)	0	(0)	1	(0)	2	(0)
	入学者	0	(0)	0	(0)	1	(0)	1	(0)
令和2(2020)年	志願者	3	(0)	3	(0)	1	(0)	7	(0)
	入学者	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)

( )は女性で内数

## 【専攻別】

		機械制御		情報電子		環境建設		計	
平成28(2016)年	志願者	7	(0)	10	(1)	11	(1)	28	(2)
	入学者	3	(0)	8	(1)	8	(1)	19	(2)
平成29(2017)年	志願者	4	(0)	10	(0)	14	(2)	28	(2)
	入学者	3	(0)	4	(0)	11	(1)	18	(1)
平成30(2018)年	志願者	10	(0)	9	(1)	4	(1)	23	(2)
	入学者	5	(0)	3	(0)	2	(0)	10	(0)
平成31(2019)年	志願者	15	(1)	12	(1)	9	(5)	36	(7)
	入学者	11	(0)	11	(0)	6	(4)	28	(4)
令和2(2020)年	志願者	12	(0)	18	(2)	16	(3)	46	(5)
	入学者	8	(0)	14	(1)	8	(2)	30	(3)

( )は女性で内数

## \*卒業後の進路状況

過去5年間の求人及び進路状況(本科)

令和元年度

卒業生数	就職者	進学者	その他	求人社数	求人倍率
------	-----	-----	-----	------	------

機械電気工学科	37(2)	23(1)	14(1)	0(0)	647	28.1
情報電子工学科	41(13)	22(10)	19(3)	0(0)	616	28.0
土木建築工学科	41(17)	25(13)	15(4)	1(0)	331	13.2
計	119(32)	70(24)	48(8)	1(0)	1,594	22.8

( ) は女子学生内数 外国人留学生を含む

#### 平成 30 年度

	卒業者数	就職者	進学者	その他	求人社数	求人倍率
機械電気工学科	39(3)	24(2)	15(1)	0(0)	671	28.0
情報電子工学科	35(10)	23(9)	12(1)	0(0)	588	25.6
土木建築工学科	43(17)	28(10)	15(7)	0(0)	348	12.4
計	117(30)	75(21)	42(9)	0(0)	1,607	21.4

( ) は女子学生内数 外国人留学生を含む

#### 平成 29 年度

	卒業者数	就職者	進学者	その他	求人社数	求人倍率
機械電気工学科	38(0)	27(0)	11(0)	0(0)	633	23.4
情報電子工学科	39(10)	27(8)	12(2)	0(0)	554	20.5
土木建築工学科	38(11)	29(9)	9(2)	0(0)	364	12.6
計	115(21)	83(17)	32(4)	0(0)	1,551	18.7

( ) は女子学生内数 外国人留学生を含む

#### 平成 28 年度

	卒業生数	就職者	進学者	その他	求人社数	求人倍率
機械電気工学科	32(1)	22(1)	10(0)	0(0)	588	26.7
情報電子工学科	39(7)	28(5)	11(2)	0(0)	528	18.9
土木建築工学科	44(12)	24(7)	19(5)	1(0)	328	13.7
計	115(20)	74(13)	40(7)	1(0)	1,444	19.5

( ) は女子学生内数 外国人留学生を含む

## 平成 27 年度

	卒業生数	就職者	進学者	その他	求人社数	求人倍率
機械電気工学科	43(0)	34(0)	9(0)	0(0)	562	16.5
情報電子工学科	40(13)	26(12)	14(1)	0(0)	504	19.4
土木建築工学科	36(11)	17(9)	18(2)	1(0)	336	19.8
計	119(24)	77(21)	41(3)	1(0)	1,402	18.2

( ) は女子学生内数 外国人留学生を含む

## 主な就職先

令和元年度

機械電気工学科

アイリスオーヤマ、NOK、NTT 東日本グループ会社、NTT ファシリティーズ中国、川崎重工業、岐山化工機、協和発酵バイオ 山口事業所、JXTG エネルギー 川崎製油所、水ing 中国営業所、ソニー・太陽、ダイキン工業、東ソー 南陽事業所 (2 名)、東ソー・ハイテック、トクヤマ (2 名)、日鉄ステンレス 山口製造所 光エリア、パナソニック インダストリアルソリューションズ デバイスソリューション事業部 山口工場、パナソニック オートモーティブ HMI システムズ事業部 敦賀地区、三菱ケミカルエンジニアリング、三菱重工業、メタウォーター (2 名)

情報電子工学科

アイオ、宇部情報システム、エヌ・ティ・ティ エムイー、NTT コムソリューションズ、エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア、オプティム、グリー、コベルコソフトサービス、GMO インタ

ーネット、新立電機、中国電力、東海旅客鉄道、東洋インキ SC ホールディングス、日本精蠟、日本放送局（2名）、日立プラントメカニクス、富士通、三菱電機エンジニアリング（2名）、山口県警察、ラック

#### 土木建築工学科

エヌ・ティ・ティ・インフラネット、NTT ファシリティーズ中国、大林組、オリエンタルコンサルタンツ、鹿島クレス、国土交通省 中国地方整備局、笹戸建築事務所、シーエム・エンジニアリング（2名）、周南市（2名）、ショーボンド建設、中国電力、東海旅客鉄道（2名）、東ソー南陽事業所、トクヤマ、西日本旅客鉄道 広島支社、広島市（3名）、防府市、山口県、洋林建設、LIXIL

#### 進学（編入学）状況

令和元年度

	機械電気工 学科	情報電子工 学科	土木建築工 学科	計
徳山工業高等専門学校 専攻科	8	14(1)	8(2)	30(3)
千葉大学	1	1	1<1>	3<1>
大阪大学	1			1
秋田大学		1		1
九州工業大学		1(1)		1(1)
横浜国立大学			1	1
京都工芸繊維大学			1(1)	1(1)
広島大学			1(1)	1(1)
島根大学			1	1
豊橋技術科学大学	2	1(1)<1>		3(1)<1>
近畿大学			1	1
立命館大学			1	1
広島市立大学		1		1
国立障害者リハビリテーションセンター学 院	1(1)			1(1)
徳山工業高等専門学校 研究生	1			1



計	14(1)	19(3)<1>	15(4)<1>	48(8)<2>
( ) は女子学生内数 <>は外国人留学生内数				

### 機械制御工学専攻

	(平成 27 年度)	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)	(平成 30 年度)	(令和元年度)
区分					
修了者数	8	4	3	3	5
就職者数	4	1	1	1	5
進学 者数	4	3	2	2	0
就職 先	ニコン、日立製作所、日立交通テクノロジー、コベルコ建機	NOK	オムロン	東ソー 南陽事業所	オムロン京都太陽、パナソニック コネクティッドソリューションズ社、日立交通テクノロジー、日立ハイテクノロジーズ 笠戸事業所、三菱電機エンジニアリング 鎌倉事業所
進学 先	東京医科歯科大学大学院、横浜国立大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、九州大学大学院	東北大学大学院 (2名)、東京工業大学大学院	九州工業大学大学院(2名)	早稲田大学大学院、九州工業大学大学院	

情報電子工学専攻

	(平成 27 年度)	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)	(平成 30 年度)	(令和元年度)
区分					
修了者数	7	7	8	4	2
就職者数	6	2	5	2	1
進学者数	1	5	3	2	1
就職先	ソニーLSI デザイン、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ、富士通、富士通関西中部ネットワーク、東ソ一情報システム	日立ハイテクノロジー、MHI 情報システムズ	ディアイティ一、東ソ一情報システム、ニコン、日立ハイテクノロジー、ヒロテック	日立ハイテクノロジー、モリスソフト	トクヤマ 徳山製造所
進学先	奈良先端科学技術大学院大学	筑波大学大学院、東京工業大学情報処理工学院、奈良先端科学技術大学院大学(2名)、九州大学大学院	北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、早稲田大学大学院	筑波大学大学院(2名)	奈良先端科学技術大学院大学

環境建設工学専攻

	(平成 27 年度)	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)	(平成 30 年度)	(令和元年度)
区分					

修了者数	7	6	8	10	3
就職者数	6	5	5	7	2
進学者数	1	1	3	3	1
就職先	鹿島建設、積水ハウス、竹中工務店、日揮、日本総合住生活、国土交通省 中国地方整備局	大成建設、NEXCO 西日本、プランテック、広島市、防府市	宇部興産機械(2名)、山口県、周南市、防府市	中電技術コンサルタント、徳本工務店、山口県(2名)、岩国市、周南市、下松市	周南市、前田道路
進学先	九州大学大学院	熊本大学大学院	東京大学大学院、愛媛大学大学院、熊本大学大学院	九州大学大学院(2名)、山口大学大学院	東京大学大学院